



「危険物安全週間」に伴う消防演習を実施

東京消防庁 予防部 危険物課

令和元年6月4日火曜日、富士アミドケミカル株式会社（北区浮間五丁目8番18号）において、危険物安全週間に伴う消防演習を実施しました。東京湾北部を震源とする直下型地震により、屋外タンクから危険物が漏えい、その後の余震により火災が発生するとの想定で、消防車両10台、ドローン1台、赤羽消防団、富士アミドケミカル（株）自衛消防隊、東京危険物災害相互応援協議会※及び赤羽地区危険物施設防災相互応援協力会事業所等の方々が参加し、土のうによる危険物の漏えい拡散防止活動や消防隊との連携による消火活動など、実践的な演習を行いました。演習の最後には参加隊による一斉放水を行い、危険物施設の安全を守る勇姿に見学者からは大きな拍手があがりました。

※ 東京危険物災害相互応援協議会は、昭和52年に都内の大規模危険物事業所が結集し、緊急時の事業所間の相互応援体制を確保する目的で設立されており、現在33事業所が加入し、5ブロックに分かれ、災害対応能力の向上及び自主保安管理体制の充実のため自主的な活動を実施しております。



自衛消防隊による応急救護活動



土のうを活用した危険物流出防止活動



化学機動中隊による現場環境測定



消防隊による一斉放水